

平成22年度  
事業報告書

(自 平成22年4月1日～ 至 平成23年3月31日)

社会福祉法人 南陽市社会福祉協議会

平成23年5月23日 提出

平成23年5月23日 承認

平成22年度

## 南陽市社会福祉協議会事業報告

### －全体をととして－

日本経済は、リーマン・ショック直後の2008年から下降し、翌2009年には世界最大の落ち込みとなり、景気は未だ回復途上の状況である。景気が完全に復調されない最大の要因は、雇用問題であると指摘されている。有効求人倍率が下がり、次いで完全失業率も戦後最悪の水準にまで下がった。2009年夏以降、改善傾向にあったものの、戻り方が緩慢であり、雇用の本格回復にはほど遠い状況である。それは、給与水準等の鈍化や将来への懸念を生み、家計の支出にも悪影響を与えることとなり、日本経済の本調子を取り戻せない一因となっている。

2010年の夏は、100年を超える観測史上最も暑い夏となり、熱中症の犠牲者が相次いだ。異様な夏に悩まされたのは日本だけではない。モスクワの気温上昇、ロシア各地での森林火災、パキスタンや中国は洪水に見舞われ、多くの被災者が出ている。冬には、2005年～2006年以来の豪雪となった。今回の大雪の特徴は、明け方近い時間帯から非常に短時間に積雪量が多かった点である。そのため、路面状況の悪化が見られ道路交通面に大きな影響を及ぼした。また、低所得世帯の除雪ボランティア相談も多く見られた。

ようやく春のおとずれを感じ始めた3月11日14時46分18秒に発生した東北地方太平洋沖地震は、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した。この地震により、場所によっては波高10m以上、最大38.9mにもものぼる大津波が発生し、東北地方の太平洋沿岸部に破壊的な被害をもたらした。また、地震の揺れや液状化現象、地盤沈下、ダムの決壊などによって、広大な範囲に被害が発生し、各種ライフラインも寸断された。地震と津波による被害を受けた東京電力福島第一原子力発電所では、全電源を喪失して原子炉を冷却できなくなり、大量の放射性物質の放出を伴う重大な原子力事故が発生した。これにより、周辺一帯の住民は長期の避難を余儀なくされている。

このような情勢下、失業や減収などによる生活に困窮した方に対し、生活を立て直せるように支援することが求められている。そこで、低所得者に対するセーフティネット施策の一つである生活福祉資金貸付事業の「総合支援資金」の貸付をおこない、継続的な相談支援をおこなってきた。また、判断能力に欠ける高齢者や障がい者のための金銭管理やサービスのお手伝いをおこなう福祉サービス利用援助事業を、利用者の増加に伴い基幹的社協として実施してきた。専門員を配置し、初期面談から契約に至るまでの訪問、及び4ヵ月ごとに生活状況の定期診断をおこなった。生活支援員との連携を密にし、安全な金銭管理と生活の支援に努めた。

東日本大震災の被災者対応として、原発事故による被災者のための避難所支援をおこなった。市と連携し、炊き出しボランティアの派遣と、老人いこいの家を入浴と保養の場として提供した。本会独自の取り組みとして、被災者へ対する生活福祉資金貸付事業、義援金募集、被災者のリフレッシュを目的におこなった健康ヨガ講師の派遣をおこなった。また、災害ボランティア（地元・被災地）の登録及びボランティア保険加入受付事務をおこない、ボランティアに関する情報提供とコーディネートをおこなった。

震災発生後、本会介護保険事業所運営にも影響を及ぼした。どの事業所もガソリン供給不足に悩まされたが、供給可能な情報を入手し、供給に足を運び、一時休業やサービス内容の低下もやむを得なかったが、ほぼ介護プランどおり営業することができた。震災直後、利用者一人ひとりのお宅を訪問し、安否確認と電力に変わる暖と灯りの確保を確認した。各事業所とも、利用される皆様のニーズ充足と安全の確保に力を注ぎながら、満足いただける事業所運営に職員一丸となって力を注いでおり、今後も同様の精神で努めていく。

長寿社会の進展に伴い、一人暮らし高齢者等が急激に増加したことで、健康不安や経済的不安で悩んでおられる高齢者が、近年一段と増えている。また、若い両親の育児放棄や家庭内暴力等での児童虐待など、地域社会においてはどれも看過できない重要な課題とされている。身近に住む人々が日常生活の見守りや訪問活動をおこない、緊急を要するときは互いに助け合える地域づくり、人づくりが肝要となっている。宮内東町地区では、以前から先進地の視察研修をおこない、地区関係者と検討を重ね、2010年11月、「宮内東町地区小地域福祉ネットワーク」を立ち上げ、早速12月より月2回、要援護世帯への訪問活動をおこなっている。震災の影響を受け、益々その必要性に駆られるものである。

社協創設40周年を迎え、記念事業として式典と祝賀会を開催した。この間、福祉観も、低所得者・要支援者への給付活動中心から、今日では「サービスを必要とする人に、必要なサービスを」と対象や事業内容も大きく変化した。40周年を迎えられたのも社協を支えてくださった諸先輩方の努力の賜物であると、心より感謝と敬意を表したい。そして、これを契機に地域福祉推進の中核機関としての責任を一層自覚し、本会の体制強化、活動強化に向けて邁進していくものである。

## 【1】法人の運営・管理

### 1. 理事会の開催

《第127回理事会》 出席者 理事・監事・事務局

- ・期日 平成22年5月24日（月）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
- ・議事 (1) 平成21年度南陽市社会福祉協議会事業報告の認定について  
(2) 平成21年度南陽市社会福祉協議会一般会計決算書の認定について  
(3) 平成21年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計決算書の認定について  
(4) 平成22年度南陽市社会福祉協議会一般会計補正予算（案）について  
(5) 評議員の改選について（役職交替による改選）

《第128回理事会》 出席者 理事・監事・事務局

- ・期日 平成22年8月4日（水）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
- ・議事 (1) 南陽市社会福祉協議会評議員の選任について（任期満了による選任）  
(2) 平成22年度南陽市社会福祉協議会一般会計補正予算（案）について  
(3) 嘱託職員等取扱規程（案）の制定について  
(4) 職員等の旅費に関する規程（案）の制定について

《第129回理事会》 出席者 理事・監事・事務局

- ・期日 平成22年8月12日（木）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（健康教育室）
- ・議事 (1) 会長の選任について（互選）  
(2) 副会長の選任について（互選）  
(3) 会長職務代理者の順位の指名について  
(4) 常務理事の指名について

《第130回理事会》

- ・期日 平成23年3月30日（水）
- ・議事 (1) 平成22年度南陽市社会福祉協議会一般会計補正予算（案）について  
(2) 平成22年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計補正予算（案）について  
(3) 平成22年度福祉活動功労者表彰並びに感謝状贈呈について  
(4) 平成23年度南陽市社会福祉協議会事業計画（案）について  
(5) 平成23年度南陽市社会福祉協議会一般会計予算（案）について  
(6) 平成23年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計予算(案)について  
(7) 事務決済規程の改正について

## 2. 評議員会の開催

《第96回評議員会》 出席者 評議員・理事・監事・事務局

- ・期日 平成22年5月24日(月)
- ・会場 南陽市健康長寿センター(健康教育室)
- ・議事 (1)平成21年度南陽市社会福祉協議会事業報告の承認について  
(2)平成21年度南陽市社会福祉協議会一般会計決算書の承認について  
(3)平成21年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計決算書の承認について  
(4)平成22年度南陽市社会福祉協議会一般会計補正予算(案)について  
(5)理事の改選について(役職交替等による改選)

《第97回評議員会》 出席者 評議員・理事・監事・事務局

- ・期日 平成22年8月4日(水)
- ・会場 南陽市健康長寿センター(健康教育室)
- ・議事 (1)南陽市社会福祉協議会理事の選任について(任期満了による選任)  
(2)南陽市社会福祉協議会監事の選任について(任期満了による選任)  
(3)平成22年度南陽市社会福祉協議会一般会計補正予算(案)について

《第98回評議員会》

- ・期日 平成23年3月30日(水)
- ・議事 (1)平成22年度南陽市社会福祉協議会一般会計補正予算(案)について  
(2)平成22年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計補正予算(案)について  
(3)平成23年度南陽市社会福祉協議会事業計画(案)について  
(4)平成23年度南陽市社会福祉協議会一般会計予算(案)について  
(5)平成23年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計予算(案)について

## 3. 監事会の開催

《監査実施》 出席者 監事・会長・常務理事・事務局

- ・期日 平成22年5月20日(木)
- ・会場 南陽市健康長寿センター(創作研修室)
- ・内容 (1)平成21年度南陽市社会福祉協議会事業全般について  
(2)平成21年度南陽市社会福祉協議会一般会計決算について  
(3)平成21年度山形県共同募金会南陽市支会寄付金及び事務費会計決算について  
(4)平成21年度貸借対照表及び財産目録について  
(5)平成21年度決算に係る伝票及び証書の監査について

《監査実施》 出席者 監事・会長・事務局

- ・期日 平成22年11月10日(水)
- ・会場 南陽市健康長寿センター(創作研修室)
- ・内容 (1)平成22年度南陽市社会福祉協議会上半期事業について  
(2)平成22年度南陽市社会福祉協議会上半期一般会計について

## 【2】低所得者に対する事業

### 1. 生活福祉資金貸付事業

景気や雇用情勢の悪化により総合支援資金や緊急小口資金をはじめとする貸付相談・貸付件数が前年度に引き続き高い水準となっていることから、失業者や低所得者への支援強化に努めてきた。特に、民生委員・児童委員や関係機関との連携を密にし、貸付の支援や償還指導をおこなってきた。

《内訳》	総合支援資金新規	12件	5,448,000円
	総合支援資金延長	15件	4,667,000円
	福祉資金	16件	6,883,000円
	教育支援資金	10件	11,591,000円

### 2. たすけあい金庫貸付事業

緊急を要する低所得世帯への援助活動として、生活費等を無利子で貸し付けをおこなった。また、これらの要望に常時即応できる体制の確立に努めた。平成22年度の新規貸付は、18件 1,061千円と深刻な状況を表している。(1件に対する貸付限度額は、80,000円) 滞納者については、借受者・保証人等に現在の状況や償還状況・今後の計画等の償還指導を民生委員・児童委員の協力を得ておこなった。

### 3. 善意銀行の運営

市民の方から善意の寄付金や物品の数々を預託いただき、生活に困窮している方々へ緊急的支援やタオル等の寄付物品を払い出し、善意の交流をおこない有意義に活用した。

《内訳》	金品預託	9件 (115,156円)
	物品預託	4件
	支援金	3件 (20,000円)
	緊急貸付	23件 (829,000円)
	物品払出	2件

## 【3】ボランティア活性化事業

### 1. 在宅福祉事業

#### (1) 生活支援型給食サービス事業 (毎週水曜日・昼食)

介護保険制度では対応不可能なサービスとして、食事の調理をすることが困難な高齢者のための援助活動をおこなってきた。また、ボランティアが宅配することで高齢者とふれあい、一人暮らし老人の孤独感を解消する等見守り援助もおこなった。

(総配食数 1,155食)

#### (2) 総合相談所の設置・運営

総合相談事業を通して、個別ニーズに適切に対応するため、相談員間及び関係機関との連携を図りながら取り組んだ。相談所の広報は、市報掲載(毎月)、社協だより「あい」への掲載による周知活動をおこなった。

#### 《相談体制》

- ・毎週金曜日 午後1時30分～4時 南陽市健康長寿センター（創作研修室）  
相談員8名（民生委員・児童委員、学識経験者）
- ・毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 南陽市健康長寿センター  
ボランティアに関する相談（ボランティアコーディネーター）

## 2. 住民参加型非営利活動推進事業

### (1) 災害救援活動「炊き出し訓練」

南陽市総合防災訓練（平成22年10月17日開催）給食訓練に参加。南陽市ボランティア友の会を中心におこない、ハイゼックス包装袋を使用して180食作った。

### (2) ボランティアセンター事業

ボランティア活動をしたい人、活動に参加したい人、ボランティアから支援を受けたい人の調整を図り、市民参加の基盤を広げてきた。

#### 《施設・在宅ボランティアコーディネート》

- ・福祉施設や在宅を訪問し、歌や踊りを披露しながら、入所者の方々と交流する機会や、技術を活かした活動等の調整設定をおこなった。
- ・高齢者の一人暮らし宅への給食サービス、冬季の除雪等の相談や活動の調整設定をおこなった。

### (3) 広報誌の発行

社会福祉協議会の事業内容等について、広くご理解いただけるよう社協だより「あい」を発行した。（6月、12月、3月）

## 3. 福祉教育推進事業

### (1) 福祉教育協力指定校事業

市内全小学校、中学校、高等学校を福祉教育協力指定校とし、子どもたちの豊かな心を育む福祉教育実践を展開していただいた。学校から地域に出て体験をしたり、地域から学校に招待したりしながら、心あたたまる交流活動がとても喜ばれている。また、福祉教育協力校の自主活動として、プルタブの収集活動を行い、物資による支援を必要とするところへの贈呈活動などもおこなわれた。

### (2) ボランティアの育成と活動拠点の開拓

#### 《ぼらんていあひろば ぴよっこ》

少子化や核家族化が進む中、子どもたちが多様な人々と共に地域社会の中で暮らしていくことの大切さを知り、他者との関わりの中で、より良い生き方を考えるきっかけとして、ボランティア活動を体験し、学んでいく必要性が高まっている。子どもたちが様々な人との交流を通し、自分や地域を見つめ、自分たちに何ができるかを考え活動できるよう、福祉教育サポーターの支援の元におこなった。

#### 《中高校生ボランティアサークル「にじ」》

施設夏祭りでの車椅子介助や事業協力、車椅子清掃、ごみ拾い、赤い羽根共同募金街頭募金活動、YYボランティアフォーラム運営協力などをおこなった。

## 【4】支部社協との連携事業（地域福祉振興活動事業）

### 1. 支部長及び担当者会

支部社協との連携及び情報交換のため、支部長及び担当者会議を開催した。

（6月、12月）

### 2. 敬老会事業への協力

市内9地区において各地区実行委員会を中心に、地域ならではの催し物が実施された。招待者は年々増加傾向にあり、地域の中で高齢者を支え合う小地域ネットワークの一端を担った事業である。

《開催期日及び招待者数》

地区	開催期日	式典会場	招待者 (名)	出席者 (名)	主な催し物
梨郷	9月5日	梨郷小学校体育館	372	116	防犯講話、遊戯
中川	9月12日	中川地区構造改善センター	308	90	園児の歌、踊り
宮内	9月16日	蔵楽	1,390	350	大泉逸郎歌謡ショー
赤湯	9月17日	南陽市民会館	1,692	315	遊戯、作文、合唱
沖郷	9月19日	南陽市民会館	1,010	210	劇・歌謡ショー
金山	9月19日	ハイジアパーク南陽	81	48	合唱、カラオケ
小滝	9月20日	小滝多目的集会施設	67	33	遊戯、合唱、舞踊
荻・下荻・ 太郎	9月26日	荻小学校体育館	134	93	遊戯、踊り、民謡
漆山	9月27日	語り部の館	558	142	合唱、舞踊、笛演奏
合計	—	—	5,612	1,397	—

### 3. ふれあい給食サービス事業

地域の方(支部社協・ボランティア)がその地域に共存する高齢者に対して、ふれあいと安否確認及び激励を目的に開催した。小学生によるメッセージカードも大変元気づけられ喜ばれた。(市内8地区 年1~2回実施)

《実施期日及び配食数》 総配食数 911食

地区	宮内	梨郷	中川	赤湯	金山	吉野	漆山	沖郷	
期日	12月2日	12月19日	2月3日	11月25日 2月24日	12月5日	12月10日 2月4日	12月3日 2月10日	12月22日 2月3日	
配食数	227	65	64	263	25	42	85	140	
対象者 (延)	男	79	25	24	58	11	15	17	43
	女	148	40	40	205	14	27	68	97



## 【5】受託事業の推進

### 1. 戦没者追悼式受託事業

地区	戦没者柱数	慰霊祭開催月日	慰霊祭会場
漆山	140柱	5月10日	珍藏寺
宮内	233柱	6月17日	蓬萊院
中川	100柱	6月17日	中山地区忠魂碑
金山	46柱	7月10日	東禅院
梨郷	120柱	7月10日	梨郷神社
沖郷	205柱	9月4日	高福寺
赤湯	228柱	9月16日	烏帽子山八幡宮
吉野	91柱	10月27日	吉野公民館
合計	1,163柱	—	—

### 2. 福祉バス管理運行事業

市内の福祉関係団体（民生委員児童委員協議会、ボランティア団体、老人クラブ、支部社協、他）による各種研修会、福祉大会の参加、ボランティア活動等のために利用された。安全な運行に留意しながら事業を実施した。

月別	運行日数 (日)	運行回数(回)			乗車人数 (人)	走行距離数 (km)
		市内	県内	県外		
4月	11	2	1	5	233	1,918
5月	10	2	7	1	256	786
6月	14	3	8	3	439	1,865
7月	19	2	13	4	384	2,621
8月	7	2	3	2	165	782
9月	21	8	14	1	624	2,130
10月	25	5	12	8	567	3,382
11月	15	7	7	2	356	1,624
12月	14	12	1	1	235	800
1月	12	11	1	0	216	691
2月	14	23	1	1	258	788
3月	0	0	0	0	0	0
合計	162日	77回	68回	28回	3,733人	17,387 km

## 【6】共同募金の推進

### 1. 赤い羽根共同募金運動

市民の皆様から戸別、職域、そして街頭での募金活動（市内5店舗）を実施し、あたたかい善意の募金が寄せられた。

頂戴いたしました貴重な募金は、身近な地域福祉活動に役立たせていただいている。

区分	募金額
地域戸別募金	3,854,305円
職域募金	111,163円
街頭募金	48,241円
法人募金	0円
その他の募金	13,638円
合計	4,027,347円

### 2. 歳末たすけあい運動

共同募金の一環として、地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう運動を推進した。

《歳末たすけあい運動推進会議の開催》

期日 平成22年10月28日（木）

会場 南陽市健康長寿センター

内容 ・運動推進要綱について ・配分対象者の基準について

《歳末たすけあい運動配分委員会の開催》

期日 平成22年12月14日（火）

会場 南陽市健康長寿センター

内容 ・配分対象者の決定について ・配分額の決定について ・伝達関係について

【寄付金】合計 2,943,992円 地域戸別募金 2,639,713円  
篤志寄付金 304,279円

配分対象者	人数等	配分額
低所得世帯の幼児(小学生未満)	19名	47,500円
低所得世帯の小学生	72名	252,000円
低所得世帯の中学生	40名	180,000円
低所得世帯の高校生	32名	192,000円
低所得世帯の世帯主	150名	1,125,000円
一人暮らし老人(生活困窮者)	141名	916,500円
特別要援護配分	7名	31,500円
小計	461名	2,744,500円
運動推進経費	振込手数料・のし袋等	53,905円
小計	(上記)	53,905円
合計	461名	2,798,405円

※ 残金は次年度繰越

## 【7】介護予防・地域ささえあい事業

### 1. 福祉サービス利用援助事業

高齢者世帯の増加、障がい者の地域移行が進む中、地域生活を支える支援事業として、相談・契約等が増加した。支援員1名新たに加え4名体制で、高齢の方や障がいのある方に、福祉サービスの情報提供や利用手続き・日常的な金銭の出し入れのお手伝いを行い、重要な書類等を紛失しないようにお預かりして、安心して暮らせるように支援した。

相談件数	契約締結件数	解約件数	実利用者数	支援活動実績
155件	6件	2件	17件	314件

### 2. 地域介護予防活動支援事業

#### (1) はつらつくらぶ事業

介護保険対象外の元気な高齢者を対象に、居宅への閉じこもり、寝たきりや認知症の予防を目的として、老人いこいの家・健康長寿センター・沖郷防災センター・宮内文化センターで、健康維持や各種趣味活動を開催した。

事業回数	総利用者数	男	女
217回	3,528人	375人	3,153人

#### (2) 高齢者地域サロン

高齢者が住みなれた地域において自立した生活を継続するために、介護予防の視点からその心身機能の維持向上の機会が必要である。そのために、交流の場の充実を図ることで、要介護状態等になることを予防できることから、自主的に組織化を図ろうとする地域活動の支援をおこなった。(助成対象サロン 62団体)

また、高齢者地域サロン支援者等の育成のため、研修会を開催した。

#### 《高齢者地域サロン支援者研修会》

期 日 平成22年8月2日(月)

会 場 南陽市中央公民館「えくぼプラザ」

人 数 126人

内 容 演歌ショー「夢芝居」

山形県立置賜農業高等学校 演劇部  
軽運動

講師 南陽市スポーツ指導員 大竹 一志 氏  
健康ヨーガ

講師 ボディポテンシャルヨーガインストラクター  
インド中央政府公認ヨーガ講師 茅田 純子 氏  
高齢者の食生活に関するアンケート調査(置賜保健所)

### 3. 小地域福祉ネットワーク事業

いま、高齢者の所在不明や孤独死など、家族や地域とのつながりをなくした高齢者の増加による無縁社会の広がりが社会問題となっている。孤立する高齢者をどう見守っていくのか、また、高齢者自身が意識的に外出し、地域社会から気にかけてもらえる生き方を考える必要が高まっている。

本会では、身近な地域内での福祉活動を推進するため、関係者による研修会を開催したり、活動をおこなう地区においての相談に応じた。12月から、宮内東町地区で見守り・声かけ活動が始まった。

#### 《第1回小地域福祉ネットワーク活動研修会》

期 日 平成22年9月6日（月）  
会 場 南陽市中央公民館「えくぼプラザ」  
人 数 127人  
内 容 講師 東北公益文科大学 専任講師 鎌田 剛 氏  
講義 「小地域福祉ネットワーク活動とは」  
演習 「事例検討」  
「小地域福祉ネットワーク活動をはじめよう」

#### 《第2回小地域福祉ネットワーク活動研修会（高齢者地域サロン支援者研修会）》

期 日 平成23年2月18日（金）  
会 場 ハイジアパーク南陽  
人 数 113人  
内 容 「実践紹介」  
講 師 東北公益文科大学専任講師 鎌田 剛 氏  
発表者 ①宮内東町地区福祉ネットワーク  
代表幹事 鈴木 洋 氏  
②長岡福寿会・長岡いきいきサロン  
会長 伊藤 徹司 氏  
③若狭郷屋たすけあいの会  
代表 竹田 仁 氏

DVD 上映「こころを紡ぐ」（製作：東京都社会福祉協議会）

## 【6】指定管理業務

### 1. 南陽市健康長寿センター・デイサービスセンター管理経営事業

市民のコミュニティー機能、保健機能、いきがい創造機能として、幅広い方々にご利用いただいている。近年、健康増進・健康維持に関心を持つ方が増えており、健康教室や料理教室としての利用が多くなっている。

《南陽市健康長寿センター利用状況》

	健康 教育室	診察室	栄養 指導室	生活 訓練室	創作 研修室	こども の広場	交流 スペース	月別人数 合計	月別利用 回数
4月	441	251	105	80	137	100	38	1,152	58
5月	539	341	71	68	272	69	9	1,369	49
6月	477	109	63	81	221	64	42	1,057	64
7月	540	277	247	26	258	133	20	1,501	75
8月	479	282	58	38	266	66	10	1,199	53
9月	773	553	87	135	173	96	41	1,858	66
10月	664	272	71	243	284	127	10	1,671	66
11月	570	320	160	48	267	87	37	1,489	64
12月	546	150	111	136	171	125	18	1,257	61
1月	536	177	128	21	167	70	29	1,128	47
2月	620	176	312	106	280	72	31	1,597	79
3月	409	320	96	190	64	98	36	1,213	82
会議室別 人数合計	6,594	3,228	1,509	1,172	2,560	1,107	321	16,491	
会議室別 利用回数	199	63	92	89	155	133	33		764
開設時（平成6年4月）からの会議室利用者数					開設時（平成6年4月）からの会議室利用回数				
347,597人					13,363回				

2. 老人いこいの家管理経営事業

高齢者に対する一日保養施設として定着しており、はつらつくらす事業の拠点としても活用されている。近年老朽化が進んでいるため、利用者の安全面を配慮し、配管工事やタイル張替え、誘導灯修繕等をおこない、安心してご利用いただけるよう配慮した。

《月次・曜日別利用状況》

月	利用者数	開荘日数	一日平均 利用者数	曜日別利用者数（人）					
				火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
4月	356	26	13.7	100	47	40	48	45	76
5月	282	26	10.8	54	56	61	54	29	28
6月	334	26	12.8	82	84	34	53	26	55
7月	309	27	11.4	83	68	56	41	20	41
8月	241	23	10.5	77	43	38	43	13	27
9月	324	26	12.5	88	98	41	33	24	40
10月	291	27	10.8	77	61	28	27	46	52
11月	393	25	15.7	96	79	102	52	23	41
12月	356	24	14.8	72	42	56	51	43	92
1月	350	24	14.6	60	78	48	57	25	82
2月	473	24	19.7	121	125	83	25	54	65
3月	294	24	12.3	54	70	59	25	28	58
計	4,003	302	13.3	964	851	646	509	376	657

## 【7】介護保険事業

### 1. 居宅介護支援事業

住み慣れた地域で日常生活が営むことができるよう希望する介護サービスの種類、内容、心身の状態、おかれた環境等をふまえ、効果的・効率的にサービスが利用できるようケアプランを作成した。また利用者の状況を的確に把握するために、課題分析やモニタリング、サービス担当者会議を実践し、要介護者などが、適切な介護サービスを利用できるよう業務を遂行した。南陽市及び周辺市町から介護保険認定調査の業務を受託し、認定更新者及び新規申請者の訪問調査を実施した。制度の一環として出前介護講座を3回開催して介護保険の周知に努めた。

#### 【介護支援専門員の業務内容】

- 要介護認定業務・・・介護保険認定調査（受託）
- ケアマネジメント・・・相談援助、ケアプラン作成、課題分析、サービス事業者調整
- 給付管理業務・・・給付実績管理、介護給付費請求事務
- 地域ケア  グループホーム運営会議  高齢者虐待防止連絡会  出前介護講座

### 2. 訪問介護事業

個々の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じた生活の質を維持、向上することができるよう介護支援専門員や関係団体と連携を図りながら個別援助計画を作成し、適切な介護サービスの提供に努めた。要支援1・2（予防）、要介護度1・2（中度）を合わせた利用者数は、全体の7割強を占めている。一方、サービス提供種別は生活援助より身体介護の利用割合が上回った状況であった。これらのサービスは、利用者とのコミュニケーションを密にすることにより、心身の自立支援につながるよう配慮し、要介護度3・4・5の重度の方には、身体介護中心のサービス提供をとおり身体機能の維持・低下防止も図れるよう努めるとともに介護者へのケアも含めた技術支援をおこなった。近年、認知症高齢者の方も増加していることから、公的機関が主催する専門研修会を積極的に受講するなど職員の介護技術の向上に取り組んだ。

#### 《訪問介護サービスの概要》

##### (1) 身体介護

- 入浴介助・・・入浴・洗髪・シャワーなどによる保清
- 清拭・・・入浴の困難な方には身体を拭く
- 食事介助・・・食事摂取の介助
- 排泄介助・・・排泄の介助や誘導、オムツ交換など
- 衣類の交換・・・着衣の交換及びベッドメイキングなど

##### (2) 生活援助

- 調理・・・ご契約者分の食事作り
- 洗濯・・・ご契約者の衣類などの洗濯
- 掃除・・・ご契約者の居室の掃除
- 買い物・・・ご契約者の日常生活上、必要な物品の買い物

《障がい者自立支援事業》

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間(H)	29	30	30	31	30	31	29	30	30	28	27	29	354
人数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

### 3. 通所介護事業

介護の施策は「在宅」「予防」重視の傾向にあり、当事業所を利用される方々も、この傾向が顕著で、特に要支援状態の利用者は4割弱となっている。3月11日の震災の影響で、停電やガソリン等の燃料確保に苦慮したが、職員一丸となって事業を遂行した結果、過去最高の利用延べ人数 8,005 人（昨年比 554 人の増）を受け入れることができた。この結果、利用者の増加に伴い新たな課題も発生したが、収支均衡が図られた。また、研修を通して意思統一を図り連携強化に努めるとともに、利用者本人が身体機能の維持、自立した生活を営めるよう快適で安心なサービスを提供してきた。

なお、当通所介護事業所が提供する利用者の介護度・支援度別人数及び介護予防を含む日常サービス内容は次のとおりである。

介護度	要支援 1	要支援 2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
人数	21	24	24	20	10	13	4	116

《通所介護サービス及び介護予防サービス提供内容》

- 日常生活の援助・・・排泄介助、移動介助、その他必要な身体介助
- 健康状態の確認・・・バイタルチェック、状態見守り、医療処置、緊急時の対応等
- 食事の介助・・・季節に添った食材の提供及び調理、食事摂取介助
- 機能回復訓練・・・レクリエーション、行事的活動、趣味活動、日常生活動作訓練
- 相談・助言・・・本人及び家族に対する日常生活の介護、看護の相談・助言

## 【8】創設40周年記念事業

本会は昭和45年7月14日に社会福祉法人の認可を得て以来、常に「誰もが身近な地域で安心して暮らせるまちづくり」の実現を目指し続け、本年、記念すべき創設40周年という大きな節目を迎えた。このことは、ひとえに先輩諸兄の弛まぬご尽力と会員・市民の皆様、関係機関等多くの皆様方のご理解とご支援の賜であり、謹んで敬意と感謝の意を表したく、記念式典及び祝賀会を開催した。

《創設40周年記念式典・祝賀会》

期 日 平成22年10月3日（日）

会 場 ハイジアパーク南陽

参加者 121人（市社協・各支部関係者及び団体、県及び置賜地区社協関係者、市・県行政及び市・県議会関係者、市内関係介護事業者、市社協功労者、社協職員等）

## 【9】東日本大震災に関する事業

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、東北地方及び関東地方太平洋沿岸部に甚大な被害をもたらし、多くの生命と財産が一瞬のうちに失われる未曾有の大災害となった。

現在も余震が続き、さらに原発事故による放射能汚染の脅威も加わり、2ヶ月を過ぎた今も20万人を越える人びとが避難生活を余儀なくされている。本市へも原発事故関係を中心に多くの方々が避難されてきた。

このため、市と調整を図りながら以下のような取り組みをおこなってきた。

### 1. 被災・避難者に対する取り組み

- (1) 市指定避難所（(元)中川中学校）への炊き出しボランティア
- (2) 老人いこいの家を利用した入浴サービスの提供
- (3) はつらつくらぶ「健康ヨーガ」講師派遣
- (4) 被災者に対する生活福祉資金貸付事業（※）

### 2. 義援金受付業務

- (1) 健康長寿センター内に義援金受付所の設置
- (2) 地元出身大学生による街頭義援金募集活動の支援

### 3. その他の取り組み

- (1) 災害ボランティア（地元・被災地）の登録及びボランティア保険加入受付事務
- (2) 休（祝）日の協議会事務所開所（被災者・避難者の相談・案内を含め、各種問い合わせ等への対応のため）

※本事業については、平成23年度も継続実施中

## 《平成22年度 福祉関係受賞者》

### 【山形県知事表彰受賞者】

- ・ 渡部 きよ子 様  
（社会福祉協議会職務優良永年勤続・職員への指導育成の功績）
- ・ 浜田 清子 様  
（社会福祉協議会職務優良永年勤続・職員への指導育成の功績）

### 【山形県県民福祉大会会長表彰受賞者】

- ・ 南陽市立漆山小学校  
（学校教育における福祉学習やボランティア育成の継続の功績、地域社会へのボランティア実践活動の功績）



- ・ 佐藤 温子 様  
(社会福祉協議会職務優良永年勤続・職員への指導育成の功績)

【南陽市社会福祉協議会会長表彰活動功労者】

- ・ 佐藤 隆 様 (家庭福祉の模範)
- ・ 井上 二男 様 (地域福祉の模範)
- ・ 板垣 一男 様 (家庭福祉の模範)
- ・ 齋藤 考一 様 (家庭福祉の模範)
- ・ 南陽市立梨郷小学校様 (地域福祉の模範)

【南陽市社会福祉協議会会長感謝状授与者】

- ・ 加藤電気有限会社 様 (除雪活動)

平成22年度南陽市社会福祉協議会関連会議等

開催月日	事業・会議名	会場・開催場所
4月 1日	辞令交付式	健康長寿センター
4月22日	県共同募金会郡市支会常務理事会議	県総合社会福祉センター
4月22日	ボランティア友の会総会	市中央公民館
4月23日	基幹的社協専門員連絡会議・実務研修	県総合社会福祉センター
4月30日	置賜ブロック老人クラブ連合会連絡会議	川西町まどか
5月 8日	市老人クラブ連合会総会	市中央公民館
5月12日	宮内地区教育ネットワーク事務局会	宮内小学校
5月14日	市民生委員児童委員協議会総会	市役所
5月20日	宮内地区教育ネットワーク全大会議	文化センター
5月26日	置賜生活福祉・就労支援協議会準備会	米沢職業安定所
5月28日	県民間社会福祉事業振興会総会	県総合社会福祉センター
6月25日	置賜二市二町社協連絡会議	米沢市すこやかセンター
6月26日	置賜社会教育振興会総会	白鷹町勤労者総合福祉センター
7月 7日	宮内地区教育ネットワーク事務局会	宮内小学校
7月 9日	ブロック別市町村社協生活福祉資金担当者会議	米沢市すこやかセンター
7月15日	置賜生活福祉就労支援協議会	米沢職業安定所
7月16日	基幹的社協専門員連絡会	県総合社会福祉センター
7月28日	置賜三市五町社協職員連絡会議	飯豊町がまの湯
7月29日	共同募金支会分会担当職員会議	山交ビル
8月 6日	福祉サービス利用援助事業生活支援員研修会	鶴岡市社協
8月 9日	置賜ボランティアの輪連絡会議	米沢市すこやかセンター
8月27日	福祉サービス利用援助事業生活支援員担当者会議	県看護研修センター
9月 3日	県共同募金会郡市支会事務局長会議	県総合社会福祉センター

開催月日	事業・会議名	会場・開催場所
9月8日	市町村社協トップセミナー	ホテルキャッスル
9月10日	日常生活の自立支援を考える研究協議会	舞鶴荘(天童市)
9月13日	置賜ボランティアの輪連絡会議	米沢市すこやかセンター
9月24日	基幹的社協専門員連絡会議	県総合社会福祉センター
9月29日	宮内地区教育ネットワーク事務局会	宮内小学校
9月29日	置賜三市五町心配ごと相談員研修会	長井市タスホテル
10月2日	いちょうの家福祉バザー	いちょうの家
10月4日	社協創設40周年記念式典・祝賀会	ハイジアパーク南陽
10月12日	置賜三市五町社協職員研修会(～13日)	秋田県三郷町社協
10月14日	宮内地区教育ネットワーク講演会	宮内小学校
10月17日	市防災訓練	漆山地区
10月20日	県老人福祉大会	鶴岡市民文化会館
10月20日	多重債務対策意見交換会	市中央公民館
10月25日	山形県・県民福祉大会	寒河江市民文化会館
10月29日	置賜老ク連会長・女性委員・担当者会議(～30日)	川西町まどか
10月31日	置賜ボランティアフェスティバル	米沢市すこやかセンター
11月11日	置賜三市五町社協役職員研修会(～12日)	米沢市河鹿荘
11月11日	13市社協常務理事・事務局長会議(～12日)	かんぼの宿酒田
11月16日	福祉サービス利用援助事業生活支援員置賜地区合同研修会	長井市老人福祉センター
11月25日	成年後見活用講座	県看護研修センター
11月29日	市町村老人クラブ連合会事務担当者会議	県総合社会福祉センター
11月30日	ワンストップサービスデイ	米沢職業安定所
12月10日	基幹的社協専門員連絡会議	県総合社会福祉センター
12月16日	市民生委員児童委員協議会新任者研修	市役所
1月18日	置賜地区福祉有償運送運営協議会	長井市民文化会館
1月21日	認知症サポーター養成講座	沖郷公民館
1月26日	宮内地区教育ネットワーク事務局会	宮内小学校
1月27日	放課後子どもプラン推進事業置賜地区コーディネーター研修会	沖郷公民館
1月31日	地域ぐるみの福祉教育セミナー	県看護研修センター
2月17日	共同募金会常務理事会議	県総合社会福祉センター
2月28日	高齢者地域支え合い事業連絡会議	県総合社会福祉センター
3月2日	基幹的社協事務局長会議	県総合社会福祉センター
3月3日	基幹的社協専門員会議	県総合社会福祉センター
3月11日	共同募金会評議員会	山交ビル